

埼玉県議会議員 無所属 42歳

すがわら文仁



【略歴】昭和50年7月30日生まれ(42歳) 市立美谷本小学校・美笹中学校卒 県立伊奈学園総合高校卒 日本体育大学卒(教員免許) 明治大学大学院修了(公共政策学修士) 元社会体育会社代表 「地盤・看板・カバン」なしで政治に挑戦 平成17年～23年戸田市議 平成23年～埼玉県議会議員(2期) 会派「無所属県民会議」総務会長 警察危機管理防災委員 経済・雇用対策特別委員 東京経営短期大学客員教授 青年地方議員の会会長 埼玉県体操協会副会長 埼玉坂本龍馬会副会長 防災士 【趣味】読書・史跡巡り・B級グルメ探し 【特技】バク転・のび太並みの早寝 【座右の銘】上杉鷹山翁の「なせば成る、なさねば成らぬ、何事も」 【家族】父・母・妻・娘・息子・愛犬 【夢】努力した者が報われる社会を実現すること 【自宅】戸田市美女木8-21-6

発行 無所属県民会議戸田支部 (菅原文仁)
〒335-0023 戸田市本町1-21-8-1F
TEL/FAX 048-432-3585
HP sugawarafumihito.com
Email mail@sugawarafumihito.com



ご挨拶

蝉の鳴き声も聞こえ、今年も暑い夏がやってまいりました。皆様ご健勝にてお過ごしのことと存じます。

さて、私は今年度2度目となる警察・危機管理防災常任委員会に所属しています。

この委員会は、主に事件や事故といった警察に関する事と地震対策や風水害対策など防災に関する事など、直接県民の安心・安全に関わりのある委員会です。

埼玉県警察は、人口に対して日本一警察官数が少ないために一人当たりの負担が重く、警察官の増員は喫緊の課題です。また、刑法犯認知件数全体としては減少しているものの、増加する振り込め詐欺被害対策の強化や、高齢者を巻き込む事故が多発して死者全国ワースト2位となった交通事故防止対策なども重要な取り組みです。

他方、比較的災害が少ないとされる埼玉県ですが、実は昨年台風による河川の溢水や家屋への浸水や道路冠水などが多数発生しており、特に「都市型水害」対策は急務です。確実視されている首都直下型地震に対する万全の備えも、着実に進めなければなりません。

私は「人の命を守ることこそが、政治の第一の使命」と考えてこれまでも、安心・安全に関する様々な提案をしてまいりました。

警察・防災行政は、根源的な政治の使命であり、人類共通の課題です。「市民の命を守る政治」の実現に向けて、戸田市から強靱な埼玉県をつくってまいります。

結びに、九州北部豪雨の被害に遭われた皆様に心からのお見舞いと、被災地の一刻も早い復旧をお祈り申し上げます。

菅原文仁

続々実現！すがわらの政策提案！



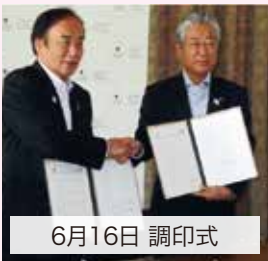
日本オリンピック委員会との協定が実現！

平成28年2月 代表質問

「アスリートの育成やキャンプ誘致を進めるために、JOCとのパートナー都市協定を結ぶべき」

実現へ

平成29年6月16日
日本オリンピック委員会(JOC)と埼玉県が「JOCパートナー都市協定」を締結



6月16日 調印式



史上初！工業用水道の料金値下げが実現！

平成26年6月 一般質問

「県南部の製造業の操業環境を守るために、工業用水の制度を見直し、企業努力に応える料金にすべき」

実現へ

平成29年3月16日
平成29年度予算特別委員会にて、工業用水道料金を平均5%値下げすることを表明



予算特別委員会答弁



野良猫の不妊・去勢手術助成制度が実現！

平成26年6月 一般質問

「動物の殺処分を減らすために、市町村に対する不妊・去勢手術助成などの支援制度を創設すべき」

実現へ

平成29年度 新規事業
飼い主のいない猫の不妊・去勢手術活動推進事業費(200万円)
野良猫の不妊・去勢手術費用を補助する制度を導入する5市町村への助成開始へ



戸田市の課題も着実に推進！



荒川水循環センター遊歩道・進入路が実現！

平成25年2月 一般質問

「地元から要望が上がっている(笹目地区側からの)水循環センター上部公園へのアクセス道の設置を」

実現へ

平成28年度 予算
荒川水循環センター南部流域処理場覆蓋進入路築造工事費(7236万円)
平成29年度、歩道橋上下部工事に継続へ



県道に自転車ナビライン整備が実現！

平成26年6月 一般質問

「市内県道の整備なくして、戸田市の自転車通行空間の完成はない。自転車通行環境の整備を」

実現へ

平成28年度 予算
県道新倉蔵線自転車通行環境整備工事費(1390万円)
平成29年度、練馬川口線整備(1.1キロ)に継続へ



統計からみる埼玉県と戸田市

	総人口(人)	人口増減率(年)	平均年齢(歳)	市町村民所得(万円)	生活保護率(%)	納税率(%)	市町村道舗装率(%)	下水道普及率(%)	犯罪率(全県)	人身事故発生率(全県)
埼玉県	H29.6 7,303,019	3.0	45.1	285.9	1.3	95.1	70.1	79.7	10.1	4.0
戸田市(濃緑)	H29.6 138,238	2位 15.6	1位 40.1	1位 376.0	6位 1.7	22位 95.9	1位 99.0	13位 88.9	5位 12.1	25位 4.6

※総人口以外は「統計からみた埼玉県市町村のすがた2017」より引用

予算特別委員会特集！！

平成29年度の埼玉県の予算額は合計2兆7,371億円となりました。一年間の予算、つまり県民の大切な税の使い道を審査し決定するのが「予算特別委員会」です。

私は予算特別委員会の理事として、上田知事をはじめ

10の部局に対して、様々な観点から質問と提案を行い、その結果、価値ある答弁を引き出すことができました。

今号では、私が予算特別委員会で行った質問の概要をお伝えいたします。



子育て

結婚・妊娠・子育ての希望実現について 「多子世帯応援クーポン を利用しやすく！」

我が国の合計特殊出生率は1.45(平成27年)となり、平成17年の1.26から約0.2ポイント回復しました。

政府の少子化対策の成果ともいえますが、いまだ1億総活躍プランの掲げる2025年度までの目標値である「1.8」には遠く及ばず、「産みたい人が産める環境づくり」をさらに進めていく必要があります。なかでも、子どもが3人以上いる多子世帯の子育ては様々な負担感があり、子どもを希望する上での壁となっております。

そのような中、県は多子世帯応援クーポンを発行し、第3子以降が生まれた世帯に対して、3年間で5万円を配布する事業をスタートさせます。

私も多子世帯を支援する必要性を認識していますが、予算審議に先立ち示されたプランは、利用する側の視点に乏しく、要領を得ないものでした。例えば、チケットの使途は第3子にしか利用できないことや、利用できるサービスも限られておりました。

そこで、上田知事にこの事業の本質について問いかけ、制度の改善を促しました。



菅原文仁委員

このクーポン事業は、第3子以降が生まれる世帯に子育てサービスを利用できるクーポンを配布して、子育てに係る身体的・精神的負担を軽減するという事業です。まずお子さんが3人いる知事ご自身の経験として、実体験をお聞かせいただきたいと思います。

上田清司知事

実体験から申し上げますと、当時3LDKのマンションに住んでおまして、7畳ぐらいの部屋に3人の子供たちを3段ベッドで3列机を並べて育てておりましたが、娘が小学校の高学年になったら一部屋よこせ運動を始めまして、それにつられて長男も一部屋よこせ運動を始めました。4LDKを購入する努力をしましたが、たった6畳分程

子ども3人を標準に

知事 3LDKの子育て語る

▲平成29年3月22日 埼玉新聞

山田知事は、県議会議員時代から子育てに力を入れてきた。県民の多くが子育てで悩んでいる現状を、自身の経験から語った。子育ては、親の世代だけでなく、祖父母の世代にも負担がかかる。子育ては、親の世代だけでなく、祖父母の世代にも負担がかかる。子育ては、親の世代だけでなく、祖父母の世代にも負担がかかる。

度広くなるにしか過ぎないのに、3割ぐらい値段が高くなるという非常に理不尽な構図を記憶しながら、改めてまたローンの設計をして住居を購入しました。つまり、基本的にこの国は4人家族、子供2人が設定されており、マンションなども子供2人の設定になっていることがよくわかりました。しかし、希望出生率は2.3人であり、多くの家庭の希望は3人だと理解しています。

菅原文仁委員

そもそもこのクーポンの目的は、単に親が楽になるためだけではなく、多子世帯の子育て環境の充実、あるいは世帯への配慮の促進によって、子供がしっかりと育つような支援がなされる。そしてさらには、サービスを提供する事業者間の競争を促すことで、県内の子育てサービスの質と量の向上を望んでいくということが、私は理想だと思っています。そこで、実効性を高めるという観点からも、対象を世帯全体にして利用者の選択を増やすことで、多子世帯の子育て環境の改善、さらには県民に対する子育てムーブメントの醸成につながっていくと考えます。知事のご所見をお伺いします。



上田清司知事

菅原委員の前段のお話が非常に分かりやすく、総括的に少子化対策の本当の意味を語っていただいた気がします。この事業の実施プロセスの中で、今ご指摘いただいたような話、要は子供をしっかりと育てたいという、そういう意欲と意思のある方々にどれだけ社会全体が応援しているというマインドが大事だと私は思っております。発言された趣旨をできるだけ生かしていきたいと思います。

菅原文仁委員

バウチャー制度の本質は「選択と競争」です。選択肢をしっかりと示し、その中で更に競争が生まれることによって、様々な制度が拡充していき、社会全体が盛り上がっていくものだと思います。提案した「サービスの拡大」についても検討を重ねていただき、今後の少子化対策協議会の協議にもしっかりと生かしていただきたいと思いますが、もう一度、答弁をお願いします。

上田清司知事

まさに、バウチャー事業は競争とサービスが適切に行われるというのが一番の目的です。民間の需要を起こすという意味でも、何らかの形で民需を高めていくことにつながっていくものだと思います。

「3キュー子育てチケット」申請受付8月30日開始！

- 対象:**平成29年4月1日以後に第3子以降が生まれた世帯(兄弟姉妹にも利用可能) **金額:**3年間で5万円のチケット(1,2年目2万円、3年目1万円)
- 家事ヘルパー ●ベビーシッター ●幼稚園等における未就園児教室 ●ファミリーサポートセンター事業 ●産前産後のケア ●シルバー人材センターのサービス
 - 子育てタクシー ●一時預かり ●病児・病後保育事業 ●放課後児童クラブ事業
 - 子育て短期支援事業(子供のショートステイ等) ●地域子育て支援拠点の有償イベント ●市町村が行う親子ふれあいイベントなど ●民間企業等が行う親子ふれあいイベントなど ●保育施設等における実費徴収分
- ※赤丸「●」は菅原の指摘に応じて再検討の後、追加されたサービス

教育

幼稚園の父母負担軽減について

「市町村への上乗せ支援検討を！」

国は幼児教育の無償化を段階的に進めておりますが、完全な無償化には程遠い状況です。県内44市町では、国の行なう私立幼稚園就学奨励補助金に上乗せで補助しており、例えば戸田市では年額2万円～4万円の父母負担軽減補助を行っています。

一方、東京都は、市区が行なう上乗せ補助に加えて、都がさらに補助を講じる手厚い仕組みであり、年間予算で比較すると東京都が約50億円に対して、埼玉県は約6千万円と桁違いです。

そこで、市町が独自に行う私立幼稚園の父母負担軽減に上乗せ支援を検討すべきではないかと総務部長に提案しました。



菅原文仁委員

埼玉県は、私立高校の父母負担軽減のトップランナーとして、平成29年度に約35%の世帯の授業料実質無償化を達成予定です。私は県が幼児教育無償化の理念を正面から受け止めて独自の支援を検討する時期が来ていると感じています。現在44の市町で行っている独自の父母負担軽減補助に上乗せで、支援を検討できないでしょうか。総務部長のご見解をお伺いします。

飯島寛総務部長

県は家計急変世帯（失職等により収入を失った世帯）への補助を県独自のものとしてやらせていただいております。補助の上乗せをということですが、市町村との役割分担の中では現在、そういうことをしていないため、今後もしそのような形で考えていかざるを得ません。

菅原文仁委員

家計急変は、マイナスからゼロに戻すというものであり、それは非常に大事なことです。しかし今、私が話しているのは、例えば東京都から埼玉県に引っ越してきたりすると、この違いにがく然とする方がたくさんいらっしゃるんです。特に、県境（都境）の自治体は非常に努力しています。その努力に県として応えていくという意気込みが必要だと思います。部長、もう一度ご答弁をお願いいたします。

飯島寛総務部長

大変厳しいご質問でございまして、基本的に、役割分担というお話をさせていただきました。けれども、ご提案の上乗せの仕組みにつきましては、他県の状況も含めまして、今後の「研究課題」ということで対応させていただきます。

福祉

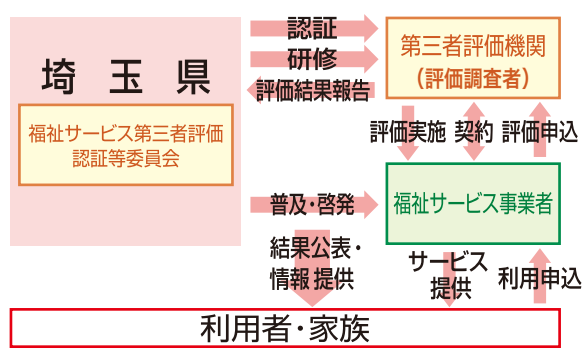
福祉サービスの第三者評価について

「全ての福祉施設利用者に安心を！」

福祉サービスには、例えば、シニアの方は特別養護老人ホーム等、お子さんであれば保育所等、障害をお持ちの方は就労支援施設等があります。現在これらの福祉サービスを選ぶ場合は、施設案内やネットの口コミといった、客観性に乏しい情報から選択せざるを得ず、入所後のトラブルも後を絶ちません。

先進自治体では、第三者である専門的な評価機関が、施設の提供する福祉サービスの質を公正・客観的に評価をする「第三者評価制度」を積極的に導入して入所者が事前に評価できる施設が増えています。私は平成25年2月の質問で受審率の向上を提案しましたが残念ながら受審数は伸び悩んでいます。

そこで、県として新たな受審率向上策を講じるよう、福祉部長に求めました。



菅原文仁委員

福祉サービスの第三者評価の導入目的は、利用者の適切なサービスの選択に資すること、そして事業者のサービス向上に資することです。しかし現在、埼玉県の平成27年度の受審件数は39事業所のみです。この福祉サービス第三者評価の受審率の現状、このままでよいと考えているのでしょうか。多くの都府県が受審費用の補助を行っております。インセンティブを付与して受審率向上をしていくべきだと考えますがいかがでしょうか。

◆第三者評価受審件数(平成27年度)

埼玉県	東京都	神奈川県	千葉県
39件	2,990件	274件	107件

田島浩福祉部長

委員お話しのとおり、受審率は2.9%となっています。この第三者評価制度は、福祉サービス事業者が良くできている点や改善すべき点が明らかになる、非常にいい制度だと思っておりますので、受審率を上げる努力をしていきたいと思っております。県ではこれまで、社会福祉施設の管理者などを対象とした研修や会議などで、制度について丁寧に説明をしています。また評価を受けた事業所や評価内容を県のホームページで公表して受審済証を交付し、受審済ステッカーも交付しております。他県の先進事例などもよく参考にしながら、本県として受審を促進する方策、何ができるか、しっかり検討してまいります。

環境

ムサシトミヨの保護について

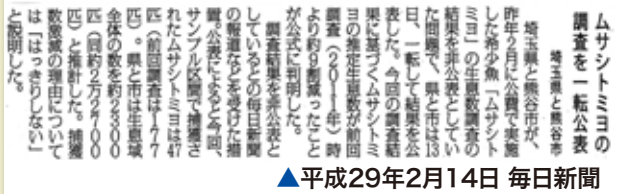
「県魚ムサシトミヨを絶滅させない！」



県の魚「ムサシトミヨ」は元荒川の上流部にしか生息しない希少種で、絶滅危惧ⅠA類(ごく近い将来、野生での絶滅の危険性が極めて高い)に分類されます。

2月の新聞報道で推計個体数が約2万2,600匹(平成22年)から約2,300匹(平成27年)と、5年間で10分の1に激減していることが明らかとなりました。この報道の翌日、県は「非公表」としていた平成27年の個体数を一転して公表しました。

そこで、不都合な情報を隠したとも見える県の姿勢を問い、今後の絶滅回避に向けた保護対策の徹底を環境部長に求めました。



菅原文仁委員

なぜこれまで非公表だったものを公表したのか説明する必要があると思いますが、ご見解をお伺いします。

矢野信敏環境部長

本来であれば、28年2月の調査結果がまとまった時点で公表しておくべきだったと考えております。今年はムサシトミヨの生息域の重要な要素の水草の回復状況がまだ不十分で調査できませんでした。この調査を1年延期することで関係方面と調整をしております。したがって、28年の調査から2年も非公表では好ましくないということで公表しました。

菅原文仁委員

私が聞いたのは、報道を受けて「非公表」だったものを「公表」したというその姿勢なんです。

矢野信敏環境部長

本来であれば、28年2月の結果が分かった時点で一度しっかりと公表すべきだったというふうに反省してございます。

菅原文仁委員

ムサシトミヨは県民のシンボルです。生態も学術的に非常に価値があるものです。他県の「県魚」で絶滅した種はありますか。また、絶対に絶滅させないためにも、徹底した保護対策を責任感を持って進めるべきではないでしょうか。

矢野信敏環境部長

絶滅危惧種の指定は埼玉県だけです。ご指摘いただきましたように保護対策をまいります。水草の補植やアメリカザリガニ等の採取等を行い、ムサシトミヨにいい環境をしっかりと守っていききたいと思います。

6月定例会報告（6月19日～7月7日）

今、定例会における議案は、知事提出として継続を含めた11件、議員提出として9件が上程され、全ての議案が可決されました。無所属県民会議は全ての議案に賛成しました。

▼知事提出議案の主な内容

地方創生拠点整備交付金の活用

賛成 平成29年度埼玉県一般会計補正予算(第1号) 可決

補正額:2億5,281万円 累計額:1兆8,646億7,981万円

◆秩父高原牧場の交流施設整備
9,986万円



会派のメンバーと現地視察

◆カエデ、少花粉スギ等の種苗研究体制の強化 4,920万円



少花粉スギの苗の説明を受ける

▼議員提出議案の主な内容

賛成 不妊治療への医療保険適用を求める意見書 可決

賛成 警察官の増員を求める意見書 可決

賛成 埼玉県虐待禁止条例 可決

児童、高齢者及び障害者に対する「虐待」を禁止し、予防や早期発見等に関する基本理念を定めた条例。県や養護者の責務と県民の役割を明らかにし、虐待防止対策を実施することにより、児童等の権利・利益の擁護を推進する。

この条例は、罰則規定のない、いわゆる理念型の条例ですが、児童・高齢者・障害者に対する虐待防止をまとめて条例化したのは全国初とのことです。

社会的に弱い立場に置かれている方々に対するあまりに残酷で悲惨なニュースが後を絶たない昨今、私たちは社会全体で虐待を起こさせないあらゆる対策を進める必要があると感じます。今回の条例化に際しては、自民党県議団の若手議員が中心となって条文を作り上げたとお聞きしました。そのご努力に敬意を表したいと思います。

編集後記

7月13日、自民党県議団に所属する県議会議員の沢田力氏（大宮区選出）が政務活動費の領収書を偽造して政務活動費約545万円を不正に受給した疑惑を受け辞職したとの報道がありました。

不正の報道後、沢田氏は自民党県議団を除名、次の日に辞職したとのことですが、その後一切公の場に姿を見せておりません。また他にも694万円を不正受給した疑いが発覚しています。一連の報道が事実であれば、有印私文書偽造（3カ月以上5年以下の懲役）の罪、そして詐欺罪（10年以下の懲役）の可能性も高く、そうであれば県議会史上最悪レベルの事件となります。

政務活動費は血税であり辞職すれば許されるという話ではありません。沢田氏は一日も早く公の場において自ら経緯を説明すべきです。また不正を見抜けなかった同県議団にも監督責任が問われるべきです。この件で失墜した県議会への信頼を取り戻し、不正が二度と起こらないようにするためにも、政務活動費を含む議会改革は待ったなしです。

私たちは、これまで政務活動費の領収書の1円からの添付・公開（実現済）や、費用弁償の実費支給条例の提案（2度否決され実現されず）など、会派一丸で「政治とカネ」に対する信頼を高める提案を具体化してまいりました。私自身も「まず隗より始めよ」という意味で自ら厳しい制限で政務活動費を支出してきました。

しかし、残念ながら埼玉のスピードは全国ワーストレベルの遅さと言わざるを得ません。「議会改革」と名の付くことは一切認めようとしない長老議員の抵抗があるのも事実です。

軌を一にして会派で視察した鳥取県議会では、各議員の収支報告書をホームページで全面的に公開しており、今年度分からはすべての領収書の公開も予定しています。その結果、議会改革度ランキング全国3位（2016）という評価と、県民の信頼を獲得しています。

一方の埼玉県議会では現在、政務活動費の領収書は情報公開請求しなければ見ることはできません。今後はホームページで全面的に公開して政務活動費の透明化を図り、議会の説明責任を果たしていくべきです。これは各会派が合意さえすれば一日でできることなのです。

私は今後も、3月議会に提案した費用弁償の実費支給化条例のように、改革に後向きの「古い議会」を、説明責任を果たす「新しい議会」に変えるための挑戦をしていきます。

～最後までお読みいただきありがとうございました～

一行日記

- 2日（さいたま市）JA記念式典
- 3日（市内）事務所用務
- 4日（市川市）大学入学式
- 5日（県議会）警察行政関係調査
- 6日（さいたま市）通信制高校入学式
- 7日（市内）商工会青年部監査
- 9日（桶川市）桶川市長選挙応援
- 10日（市内）小・中学校入学式
- 11日（県議会）会派団会議
- 12日（県議会）企画財政関係調査
- 13日（市内）事務所用務
- 14日（市内）蕨警察地元案件調査
- 15日（市内）地元町会総会
- 17日（市内）事務所用務
- 18日（県議会）教育行政関係調査
- 19日（市内）市民訪問相談
- 20日（市内）事務所用務
- 21日（市内）事務所用務
- 22日（市内）発達障がい児支援講演会
- 23日（市内）県体操協会総会
- 24日（市内）理容組合総会
- 25日（県議会）警察・防災委員会
- 26日（県議会）会派用務
- 27日（県議会）戸田の会県政勉強会
- 28日（県議会）会派用務
- 29日（市内）事務所用務

4月（卯月）



校長の三浦雄一郎氏と



母校の入学式に出席



戸田の会の皆様と

- 1日（市内）事務所用務
- 3-5日（四日市市）AJG体操競技大会
- 6日（市内）地元町会総会
- 7日（さいたま市）市長選挙応援
- 8日（市内）市民訪問相談
- 9日（市内）美容組合総会
- 10日（鳥取市）会派視察研修
- 11日（豊岡市）会派視察研修
- 12日（大阪市）会派視察研修
- 13日（市内）美女木地区まち協議会
- 14日（市内）地元町会総会
- 15日（市内）レク協総会
- 16日（県議会）会派団会議
- 17日（和光市）市長選挙応援
- 18日（川口市）地域機関意見交換会
- 19日（市内）市民訪問相談
- 20日（市内）小学校運動会
- 22日（杉並区）明治大学講師
- 23日（市内）戸田市商工会総代会
- 24日（千代田区）大学院勉強会
- 25日（市内）市PTA連合会総会
- 26日（市内）事務所用務
- 27日（市内）小学校運動会
- 28日（草加市）埼玉坂本龍馬会
- 29日（市内）市議会訪問
- 30日（県庁）知事意見交換
- 31日（熊本市）警察・防災委員会視察

5月（皐月）



清水はやと市長を応援



生態系保護施策を視察



学生に地方自治論を講義

- 1日（益城町）警察・防災委員会視察
- 2日（福岡市）警察・防災委員会視察
- 3日（市内）ウイング祭り
- 4日（市内）小学校運動会
- 9日（市内）事務所用務
- 11日（市内）ソフトボール開会式
- 12日（市内）会派団会議
- 13日（市内）教育長表敬訪問
- 14日（市内）事務所用務
- 15日（県議会）市民相談
- 16日（市内）駅頭活動
- 17日（市内）笹目地区環境対策協議会
- 18日（市内）地元町会運動会
- 19日（県議会）6月定例会開会
- 20日（県議会）議案説明会
- 21日（県議会）議案調査
- 22日（県議会）議案調査
- 23日（県議会）一般質問
- 24日（市内）荒川左岸水防演習
- 25日（板橋区）都議選挙応援
- 26日（県議会）一般質問
- 27日（県議会）一般質問
- 28日（県議会）一般質問
- 29日（県議会）一般質問
- 30日（県議会）議案調査

6月（水無月）



熊本地震の爪痕



駅頭活動「974日目」



地元県議としてご挨拶